

令和5年度「学生による授業評価」のまとめ

本校では、「学生による授業評価実施に関する申し合わせ」に従い、毎年、授業終了前後に、学生が受講した授業（講義、演習、実習等）に関して授業内容を評価している。授業評価用紙として現在複数種類が本校で使用されているが、その2つを、図1および図2として示した。

図1. 学生による授業評価用紙(様式1)

学生による授業評価 (令和4年XX学科XX年生):実施日:R5年XX月XX日								
科目名	XXXX	教員名	XXXX	強く思う(5)	やや思う(4)	どちらともいえない(3)	あまりそう思えない(2)	まったくそう思えない(1)
履修態度	Q1.事前に十分な予習をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q2.授業に毎回積極的に参加しましたか。			5	4	3	2	1
	Q3.授業中に講義内容を理解する為の努力をしましたか。			5	4	3	2	1
	Q4.毎回講義の復習を十分にしましたか。			5	4	3	2	1
目標達成	Q5.最終的に講義の目標を達成することができましたか。			5	4	3	2	1
科目内容	Q6.あなたにとって講義全体の難易度は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q7.講義を履修することで学習意欲は増しましたか。			5	4	3	2	1
総合評価	Q8.この講義は全体として満足出来るものでしたか。			5	4	3	2	1
自由記載欄	Q9.講義に対する意見やコメントがありましたら、ご自由に記載願います。							

図2 学生による講義科目に対する学生評価(様式2)

科目名	授業科目	教員名		強く思う(5)	やや思う(4)	どちらともいえない(3)	あまりそう思えない(2)	まったくそう思えない(1)
履修態度	Q1.あなたは、この授業にどのくらい出席しましたか。			5	4	3	2	1
	Q2.あなたは、授業に対して予習と復習を積極的に行いましたか。			5	4	3	2	1
	Q3.あなたは、授業に対して意欲的に取り組みましたか。			5	4	3	2	1
教員評価	Q4.教員の話し方は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q5.板書やOHC、パワーポイントの字や図の表現は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q6.教員は、学生が質問や意見を述べられるように配慮しましたか。			5	4	3	2	1
	Q7.時間配分など、授業の進め方は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q8.配布資料、教科書などの教材は適切でしたか。			5	4	3	2	1
	Q9.教員は、授業中の私語に対して適切な処置を取りましたか。			5	4	3	2	1
	Q10.教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めましたか。			5	4	3	2	1
	Q11.教員は、熱意を持って授業に取り組んでいましたか。			5	4	3	2	1
科目内容	Q12.授業の内容は興味や関心が持てるものでしたか。			5	4	3	2	1
目標達成	Q13.授業の内容は理解できるものでしたか。			5	4	3	2	1
総合評価	Q14.この授業を全体的にみたときに、どの程度満足していますか。			5	4	3	2	1
自由記述欄	Q15.後輩にも是非すすめたい授業ですか。			5	4	3	2	1

図3は、各授業評価用紙の相互評価の点数を指標にして、学生による授業評価点をグラフ化したものである。

昨年度では、学科間でこれらの評価点に差異が認められたが、令和5年度の授業評価では、どの学科でも良好な評価結果となった。そのため、学科間に有意な差がなくなったと推察され、望ましい結果になっていると考えられる。

授業評価点の満点は5点であり、学生は各質問項目に1～5点のどれかを選択していく。図3の「PT」、「OT」、「Nrs」は、学科ごとに授業評価を受けた教員全員の評価点を平均したものである。「その他」とは、学科に所属していない教員や非常勤講師の評価点の平均したものである。

ただ、問題もある。それは、図3の元データとなった教員一人一人の総合評価点に注目すると、大きなばらつきが認められたことである。最高の評価点は5点であったが、最低点は3.2点であった。今後、評価が低めの教科に関しては、その授業の構成や資料内容等も含め、授業改善に取り組んでもらいたい。

評価を受けた教員全員は学生による授業評価結果を学生自身にフィードバックするだけでなく、次年度に向けては、評価点数だけでなく学生からの具体的なコメントも考慮し、さらなる授業改善に取り組んで頂きたい。

6 図3. 授業評価の学科間比較

